

新年北陸地区特集

地域で一番にこだわり

FBモル 環境配慮型埋め戻し材

福井宇部生コンクリート

得している。

「FBモル」は元々、ひび割れ抑制対策として開発した。01年のグリーン購入法の施行を受けて、公共工事で高強度コンクリートの延伸工事（金沢～敦賀間）に、早強セメントとフライアッシュ（FA）を結合材に利用した三成分セメントによるひび割れも抑制でき、乾燥収縮によるひび割れも抑制でき、強度発現などの性状を確認して、03年にはJISだけでなく、福井県から標準化を検討され、標準化が実現した。

福井宇部生コンクリート（南谷哲彦社長）は、2020年の県内でも高炉セメントB種とフライアッシュ（FA）を結合材で初となる設計基準強度（Fc）80N/mm²の高強度コンクリートの大臣認定取得などを「地域で一番」にわざと技術力を磨いてS（A5308）を取



福井宇部生コンクリートのプラント

め、国土交通省や県発注工事でこれまでに2万t超を出荷した。FBモルで培ったFA利用の経験を踏まえ、同社は北陸新幹線の延伸工事（金沢～敦賀間）に、早強セメントとフライアッシュ（FA）を結合材に使用したコンクリートを納入。FAコンクリート向けのAE剤を、高性能AE減水剤とは別添で使用するなど、空気量の調整に留意した。同社では現在、FBモルの添加率はセメントによる「FBモル」は全国に先駆けてシリカ反応（ASR）抑制の目的も加えて、福井県、福井大学と共に研究を行い、温度だ

してPRしている。こ

る住宅の駐車場で、美

觀が品質と認識されや

う。これまでの3者に

環境配慮型材料技術の

取り組みが評価され、

これまで以上にユーザーへ訴求できるように、

第三者機関が発行する

認証書を取得する方針だ。

これまでの3者に

環境配慮型材料技術の

取り組みが評価され、

これまで以上にユーザーへ訴求できるように、

第三者機関が発行する

認証書を取得する方針だ。

これまでの3者に

環境配慮型材料技術の

取り組みが評価され、

これまで以上にユーザーへ訴求できるように、

第三者機関が発行する

認証書を取得する方針だ。